

事業概要：移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」

旧制度（推進）

申請者	京都府ほか12自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,955,155千円 (410,907千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	移住者等を地域に積極的に受入れ、移住者や関係人口が活躍しやすい地域を各地に展開するとともに、地域の特色に合わせた活躍テーマを明示することにより、自分の実現したい生き方や追いかけてみたいテーマに合った生活やダイバーシティに惹かれ様々な知識・経験・技能等を持った人が訪れ、活動し、暮らすことができる、多くの移住検討者に選ばれる「移住するなら京都」への取り組みが地域の活性化に繋がるという好循環を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 府・市町村等が一体となり移住施策を展開。仕事・交流・フォロー支援により移住定住を一体的に進めるとともに、関係人口の拡大と地域活性化を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○移住者へのフォローアップ、交流人口や関係人口との循環拡大 72,895千円 移住者受入・活躍応援事業 他 ○移住者の「職」への支援＋関係人口の取込 89,578千円 ワーケーション推進エリアにおける関係人口づくり 他 ○移住者等受入整備事業 152,436千円 地域内の空家改修による移住者受入促進 他		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①京都府条例に基づく「移住促進特別区域」へ移住した人数（年間）（+1,430人） ②京都府条例に基づく「移住促進特別区域」のうち、「移住者受入・活躍応援計画」を策定し地域の特性に応じた移住者や関係人口と協働で地域作りに取り組む地域数（新規取り組み地域）（+22地域） ③当該年度の移住者の定住率（令和元年度実績の維持）（0%）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、城陽市、京丹後市、南丹市、和束町、京丹波町、与謝野町の広域連携事業

事業概要：京都府プレミアム中食オープンイノベーションラボ整備事業

旧制度（拠点）

申請者	京都府	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,091,953千円 (633,572千円)
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	農林水産分野
目的・効果	高機能性中食など加工食品の開発拠点となる京都府プレミアム中食オープンイノベーションラボを整備し、地域の食材、食文化、中食開発技術を結びつけ、地域ブランド中食を生み出すことにより、農林水産業を含む食関連産業の成長産業化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「京都食ビジネスプラットフォーム」から生まれたアイデアなどの商品化に向けた試作品の作製、機能性成分の分析、品質の評価等を通じ、府内産農産物を活用した中食向け機能性食品などの開発を支援するための拠点を整備。分析などが可能な分析機器や物性の調査機器を導入し、分析結果の数値をデータベース化することで、効率的な商品開発を可能とする。	①研究 コワーキング ラボ コワーキング キッチン 独立研究室 イベント スペース等 ②試作 ③交流 平面イメージ  開発商品イメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・【建築・電気設備・機械設備工事】 施設改修 278,316千円 ・【備品整備】試験研究・食品加工機材の導入 262,381千円 ・【効果促進事業（ハード事業）】 既存施設の解体等 92,875千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①山城地域12市町村の農業産出額（+7億円） ②本施設を利用する食品加工業者数（+2,100団体） ③本施設を利用して事業化された加工食品の販売金額（+5億6,000万円） ④本施設を利用する農家数（+1,050人）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

事業概要：人口減少が進む京都北部エリアの人材確保対策
企業の人材不足対策の支援と若者等の移住・Uターン促進事業

旧制度（推進）

申請者	京都府、綾部市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	321,003千円 (112,494千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・北部出身者を中心とする域外学生に対して地元企業はもとより地域そのものの魅力をセットで発信及び届けていくことにより、積極的に若者のUIターンを促進を図る。 ・潜在的な労働力（女性、高齢者）の掘り起こしからマッチングまでパッケージで実施して、企業の人材不足の解消を図る。		
事業概要・主な経費	【事業概要】 北部出身者を中心とする域外学生に対して地元企業はもとより地域そのものの魅力をセットで発信するとともに、企業における人手不足対策の観点から、北京都ジョブパークの体制を強化し、潜在的な労働力（女性、高齢者）の掘り起こしと企業における受入環境の整備支援などを通じて精力的にマッチングにつなげる。 【R8年度事業 経費内訳】 ○域外学生に向けたUIターン促進 ・都市部(関西圏・首都圏)開催の民間就職フェアへの出展及び同フェアでのUIターン就職支援コーディネーターによる移住・就職相談対応の実施（20,789千円） ○若者、女性、高齢者など、ターゲットのニーズに応じた個別相談からマッチングまでのパッケージによる支援 ・ターゲットに応じたテーマ設定のセミナー、適職診断・ニーズ聞き取り等の伴走支援、企業とのマッチングイベントの開催（35,398千円）		
	 		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①北部地域就職 UIターン就職内定者数 (+450人) ②本事業に係る北部地域における新規就職内定者数（女性・高齢者） (+4,050人) ③本事業に係る北部企業における人材確保数（+1,500人）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shinikikai/keikaku-03/index.html	

申請者	京都府ほか2自治体※	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	109,316千円 （51,682千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	京都府の各地域が持つ資源等の強みを生かしながら、10年後、20年後の近未来を見据え、産業の中核となる蓋然性の高いテーマを掲げ、イノベーションに取り組む国内外の異業種・異分野の企業や大学、研究機関等の集積を図り、交流・共創を通じて、次代の産業を創出する拠点づくりに取り組むとともに、深化型のオープンイノベーションネットワークを構築することで、交流基盤を拡大し、自発的に新たな事業の種が生まれる持続可能なエコシステムを形成する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 先進分野をテーマにしたオープンイノベーションネットワークの構築に向けた産学官による勉強会、異業種・異分野の人材が相互交流する仕掛けづくりに向けた交流拠点整備やピッチ会、イノベーション創出や産業化を図るための土台整備に向けた国内外の企業・起業家に対するPR、実証試験等の実施を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スマート物流、スマートシティ等をテーマにした勉強会や市場調査の実施、ヘルス・スポーツ、サステナブル産業等に係る実証試験の実施、国内外の企業等に対する新たな事業のシーズ等の発信（26,000千円） ・東部丘陵地中間エリアのまちづくりに関する市場調査や勉強会の開催、誘致企業等の検討などの実施（22,182千円） 異種・異業 企業・大による 交流・共創ネットワーク 新たな 産業分野 自発的に新たな事業の種が 生まれ続ける持続可能なエコシステム		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①事業を通じた新規就業者数（+17人） ②オープンイノベーションエコシステム形成を通じたスタートアップ企業設立数及び大企業等とスタートアップのマッチング件数（+60件） ③国内外の企業・大学等の参画団体数（+300団体）		
	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html	

※京都府、城陽市、井手町の広域連携事業

事業概要：アートを核とした回遊性の創出による賑わいづくりと移住促進

継続

申請者	京都府ほか 4 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	972,635千円 (349,034千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・アーティスト等クリエイター専用の短期滞在施設の運営や子どもや親子等を対象としたアートスクールの運営によって、地域と現代アートの融合による交流人口、移住者の増加を目指す。 ・広域周遊型の「京都国際芸術祭」の開催やインバウンドも含む周遊ツアー商品の磨き上げによるファンづくりによって、現代アートを核とした広域周遊による交流人口の増加を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・商店街の空き店舗や廃屋などを芸術祭へ招聘したアーティスト専用の短期滞在施設として通年利用する遊休施設の活用促進する。 ・過去に移住したアーティスト等を講師に迎え、ワークショップやアート鑑賞プログラムなどアートスクールを開催する。 ・美術館や博物館など京都の文化芸術を活かし、地域の魅力を芸術で発信する広域的な「京都国際芸術祭」を開催する。 ・インバウンドを主なターゲットとして周遊ツアー商品を磨き上げ、海外プロモーションを実施する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・アーティストの滞在支援（委託料等）59,000千円 ・アートスクールの開催（負担金等）121,840千円 ・芸術祭開催経費（負担金等）103,900千円 ・旅行商品及び海外プロモーション実施（負担金）15,000千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①京都府域へのクリエイティブ人材など芸術祭関係者の移住者数（+ 210 人） ②アーティストやクリエイター等の移住に関する相談件数（+ 1,500件） ③アートスクールの参加者数（+ 900人） ④府域の観光消費額（府域の住民 1 人当たりの額）（+ 3,000円） ⑤経済波及効果（+ 60億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisou/sei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、宇治市、宮津市、京田辺市の広域連携事業

事業概要：学生×企業×地域・京都未来づくりプロジェクト事業

継続

申請者	京都府ほか 5 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	871,718千円 (283,026千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	京都市、大学コンソーシアム京都、産業界と連携し、京都で学ぶ高校生が大学レベルの教育に触れる機会や、大学生が在学中に府内の地域や企業を理解する機会を拡大することで、将来の京都を支える人材の育成・定着につなげるとともに、大学の知を活用した企業のリスキリングを推進することで京都経済の持続的成長を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 高校生が大学レベルの教育に触れる機会や大学生が在学中に京都の地域や企業を理解する機会を拡大する取組を行うとともに、インターンシップや就業体験等に新たにに取り組む企業を増やすため、多忙な学生に効率的かつ効果的に京都企業の魅力を伝え、インターンシップや就業体験への学生参加を促進する。また、人手不足が深刻化する中、急速な技術革新や産業構造の変化に対応する高度人材の育成を図り京都産業の活性化に繋げるため、府内の産学官連携を強化するとともに、府内に集積する大学等高等教育機関の知を活かしたリスキリングを促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・大学と連携した京都企業の魅力発信（委託料等） 49,421千円 企業魅力発信のためのプロモーション映像の制作の実施 ・企業のインターンシップ等プログラム作成支援（委託料） 19,409千円 ・若者のニーズにマッチした仕事創出（補助金等） 132,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じた学生の府内就職者 (+403人) ②本事業を通じたりスキリング取組企業数 (+450社) ③本事業を通じて地域や企業の課題に取り組んだ学生数 (+150人)					URL ※交付金の 具体的使 途・実施体 制・効果検 証の結果及 び改善方策 への反映が 記載されて いるURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、舞鶴市、綾部市、亀岡市、城陽市の広域連携事業

事業概要：Kyoto Kougei Product 世界市場展開推進事業

継続

申請者	京都府ほか 3 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	562,660千円 (195,050千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・高い技術力を活かして生み出される製品を「Kyoto Kougei Product」として世界市場へ展開させる。 ・オープンイノベーションとマーケットニーズに応じた商品づくりの流れを生み出し、新たな仕事や取引を呼び込む。 ・意欲ある職人による新しいチャレンジと府内外の学生や若者の新規参入を業界を挙げて受け入れることで、関係人口の拡大と雇用の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 伝統産業専門の支援拠点「Kyo-Densan-Biz」を核として、世界市場にチャレンジする事業者の拡大を図るため、京都の伝統産業事業者における経営者マインドの醸成を図るとともに、ブランディング及びマーケット分析、マーケットニーズに応じた商品開発に係る支援を充実させ、世界へ挑戦する地力のある事業者を育成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・世界市場への進出を伴走支援する支援体制の構築（委託料）30,800千円 ・世界市場進出のための拠点整備と機会構築（補助金）60,000千円 ・オープンイノベーションによる商品開発（負担金）67,500千円 ・伝統産業を次世代に承継するための普及・魅力発信（委託料）36,750千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新たに京都の伝統産業に従事することとなった者（+ 30人） ②海外等のマーケットニーズに応じた新商品の開発件数（+ 600件） ③支援事業への参加事業者数（+ 175者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、福知山市、宇治市の広域連携事業

事業概要：農林水産業担い手確保育成戦略事業費

継続

申請者	京都府ほか 7 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	830,690千円 (326,180千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・農林水産業の成長産業化を牽引する専門人材を効果的・効率的に確保・育成する。 ・インターンシップ等の取組を通じて、農山漁村地域での就農・就業イメージを醸成するとともに、地域・市町村での人材確保・育成体制を整備する。 ・農林水産物の高付加価値化や生産性の向上により、所得の増大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 担い手の確保・育成に当たっては、これまで農業、林業、水産業の各分野独自に実施してきた人材確保・育成施策を、分野横断的に誘導から相談・体験、実践研修、就農・就業支援、経営発展の各段階を一気通貫で効率的に支援する体制を整備するとともに、大学、民間企業などと連携し、高度な知識や技術習得を可能とするためのネットワークを構築し、他府県にはない魅力ある研修体系を確立することにより、京都府における農林水産業の成長産業化と農山漁村の活性化に資する人材を育成する。また、「稼げる農林水産業」を実現し、新たな人材を確保するため、スマート技術など生産性向上や新たな価値の付加等を目的とした研究を実施し、開発された技術を現場に実装する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スマート技術など生産性向上や気候変動に対応した品種や栽培技術の開発、新たな価値の付加等を目的とした研究開発を実施（委託料） 36,160千円 ・地域特産物等の産地形成や生産拡大に必要な備品購入費を支援（補助金） 54,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①府内農林水産業への新規就業者数（+735人） ②過去 3 年間で府内に就業した研修教育機関卒業生の定着率（+5.4%） ③新商品・新サービスの開発支援数（+60件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、舞鶴市、宮津市、亀岡市、八幡市、精華町、与謝野町の広域連携事業

事業概要：「まるっと京都」周遊観光プレミアム化促進事業

継続

申請者	京都府ほか24自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,039,982千円 (355,230千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	京都府・京都市をはじめ、府内市町村や各DMOが一つの主体を形成し観光コンテンツの造成・深化に取り組むことにより、府内各地に点在する文化観光コンテンツをつなぎ合わせ、高付加価値化に向けた魅力的な観光ツアーや観光ルートの造成等に取り組むことで府内全域での観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・府内各地に点在する文化観光コンテンツをつなぎ合わせ、高付加価値化に向けた魅力的な観光ツアーや観光ルートの造成する。 ・造成した観光コンテンツの魅力発信にあたっては、各団体が有する強み（専用サイトやアドバイザー）を府域全体で融通利用することにより、各方面で府域周遊観光の一体的なプロモーションを積極的に実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・府域周遊観光の高付加価値化等推進事業 府域周遊観光推進協議会による観光コンテンツ造成 91,000千円 ・各団体の強みの融通利用によるプロモーション強化事業 府域周遊観光推進協議会による一体的な観光プロモーション事業 46,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+7,000万円） ②宿泊者数（+500,000人） ③周遊コンテンツの造成数（+100件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、八幡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、京丹波町、伊根町、与謝野町の広域連携事業

事業概要：こども・若者がつくるあたたかい京都プロジェクト事業

新規

申請者	京都府ほか11自治体					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,359,997千円 (422,536千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	こどもや若者が地元の商店・企業、地域住民と協働し、地域課題の解決につながる取組を推進し、多世代・多分野の地域住民間の交流を促進する拠点形成を進めること等により、街の各種活動の活性化、地域に活気があると感じる住民の割合増加を図るとともに、地域へ愛着を持ち主体的に参画することも・若者の育成・定着を推進し、地場産業と地域の持続可能性を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 こども・若者が地域企業や多世代の住民と協働し、商店街や伝統行事の活性化、地域産業の振興等地域課題の解決に取り組む事業を京都府・市町村が推進し、地域住民間の交流を促進する拠点整備を行う。また、若者の府内定着を支援するため、府独自の「就労・奨学金返済一体型支援事業」を活用した企業とのマッチング支援や、企業に対し働きやすい職場づくりの支援を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・団体やイベントへの助成、こども・若者と地域・学校をつなぐコーディネーターの設置、こども・若者がまちづくりや行政施策等へ意見表明をする場の開催などを実施（委託料等）176,608千円 ・地域課題の解決や多世代交流に資するものとなるよう伴走支援を実施（補助金等）150,000千円 ・若者と府内企業とのマッチング支援や企業に対する働きやすい職場づくりの支援（委託料等）95,928千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の社会減抑制（+3,753人） ②住んでいる地域ににぎわいや活気があると思う人の割合（+13%） ③住んでいる地域が、子どもが育つのによい環境だと思う人の割合（+16%） ④学生の地元就職率（+9.4%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

事業概要：観光共創サステナブル地域経済づくり事業

新規

申請者	京都府ほか22自治体※					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,861,214千円 (826,780千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少下においても、持続可能な地域経済を形成するため、観光産業と地場産業の連携により、域外からの消費や人流を地域に取り込み、双方の高付加価値化を実現する。また、地域住民・事業者や移住者など多様な主体の参画により、地域の地場産業や文化資源等を活かした体験型コンテンツ等を創出・提供し、観光による経済効果を地域全体に広く波及する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 データに基づく観光マネジメントの高度化と併せ、これまで観光との連携機会が少なかった地場産業や生活文化などの地域資源に焦点を当てるとともに、地域の多様な主体が参画できる仕組みを構築することにより、地域経済全体の高付加価値化を図るとともに、観光による経済効果を地域全体に広く波及させる。 ・高付加価値観光地域創出のためのデータ利活用体制の構築 ・観光と地場産業や地域資源との共創による持続可能な地域経済の確立 ・多様な地域人材が参画するローカルビジネスの創出						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域資源との共創による持続可能な観光の確立（委託料等） 417,694千円 ・多様な地域人材が参画するローカルビジネスの創出（補助金） 54,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①府域の観光消費単価（+1,500円/人） ②観光資源が活用されていると思う人の割合（+6%） ③再来訪したいと積極的に思う人の割合（日本人）（+6%） ④再来訪したいと積極的に思う人の割合（インバウンド）（+6%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	 (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html (効果検証) https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、八幡市、京田辺市、京丹後市、南丹市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村、京丹波町、伊根町、与謝野町の広域連携事業

事業概要：少子高齢化社会における伝統文化による地域振興事業

新規

申請者	京都府ほか 4 自治体※					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	695,156千円 (263,856千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・京都の魅力ある地域文化・伝統文化には、守るべき対象にとどまらず、観光資源として活用することで、地域経済を再生させる大きな潜在力を持っており、魅力の再認識と魅力向上の取組により、地域を活性化する。 ・伝統文化・地域文化について、若年層に興味を持ってもらう仕組みを作るとともに、観光資源としての魅力も高めることで、地域産業の充実、府域における人口交流促進の仕組みを作る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・伝統文化交流祭典を実施し、地域や世代を超えた人々が伝統文化・地域文化を通じて交流し、地域文化の魅力を発信することで、今後の地域の祭りにおけるピーターを増やし、観光商品としての地域文化確立の足掛かりとする。 ・京都府事業である「寛永行幸四百年祭」と連携し、注目度を向上させることで、さらなる魅力発信を図っていく。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域文化と伝統文化の新たな魅力を発信する伝統文化交流祭典開催経費（負担金） 110,000千円 ・伝統文化に対する若者の関心を高める学生地域・伝統文化体験事業実施経費（委託料・負担金） 60,000千円 ・寛永文化と地域の魅力を発信する寛永行幸四百年シンポジウム開催経費（委託料・負担金） 20,000千円					 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①府域の観光消費額（府域の住民一人当たりの額）（+ 3,000円） ②地域文化の保存会への新たな若年層（20代・30代）の加入者数（+ 60人） ③30代までの府民で地域の芸能や祭りに参加している人の割合（+ 45.30%） ④祭りを契機とした府域への移住者数（+ 60人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、京都市、亀岡市、宇治市、木津川市の広域連携事業

事業概要： 未来を拓く京都産業の実現に向けたグローバル・エコシステム構築事業

新規

申請者	京都府ほか 4 自治体					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	910,375千円 (290,325千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・海外のエコシステムとの関係性を緊密化し、相互連携を強化することで、京都の強みである脱炭素やライフサイエンスなどのディープテック分野に対する海外からの投資や人材を呼び込み、スタートアップの創出・成長を加速する。 ・国内外のスタートアップと府内中小企業等とのオープンイノベーションやビジネスマッチングの機会を拡充することで、経営基盤や競争力、新事業創出機能の強化を図り、世界に通用する持続可能な京都産業を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ディープテック分野等における研究シーズの事業化やインキュベーション機能の強化、国内外の起業家・支援者を呼び込む多様な交流・共創の機会の拡充、世界基準の新事業創出に向けた異分野・越境連携の加速などを通じて、グローバル・スタートアップ・エコシステムの深化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・市場ニーズに合わせて企業を生み出す海外インキュベーターの誘致（負担金・委託費）14,000千円 ・世界最大のショーケースへの出展による海外展開・販路拡大支援（会場使用料、委託費、役務費）23,000千円 ・脱炭素エコシステム都市としての国際的ブランディングのための共創プロジェクト創出に向けた産学公交流イベントの開催（委託費）17,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①従業者一人当たりの高付加価値額（4,200千円） ②スタートアップ創出件数（+ 300件） ③海外からの資金調達件数（+ 10件） ④国内外のスタートアップ企業と府内中小企業とのマッチング件数（+ 60件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

※京都府、精華町、宇治市、京田辺市、京都市の広域連携事業

事業概要：向日町競輪場敷地再整備事業（京都アリーナ（仮称）整備・向日町競輪場再整備）を中心とした官民連携による地域創生プロジェクト

新規

申請者	京都府、向日市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	6,960,000千円 (342,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	向日町競輪場敷地再整備（京都アリーナ（仮称）整備・向日町競輪場再整備）を行い、新たな交流拠点を創出し、交流拠点を中心として、スポーツ振興、多世代交流や地域ブランドの向上などを図る。このことから、地域内での循環と地域外からの来訪者による交流拠点での消費・来訪者による地域での消費により、消費額の流入超過に寄与することで、地域活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 敷地再整備事業として、「する」「みる」「ささえる」スポーツや音楽等の文化芸術の拠点となるアリーナ（交付金対象外）、競輪施設、地域の祭りやマルシェなどの開催が可能なイベント広場などの整備を計画している。また、整備後の新たな交流拠点を中心としたイベント開催等による観光競争力の向上や地域活性化を目指し、整備以前から、関連施設でのイベントを開催するなど、機運醸成や地域への来訪者の誘引を図る。加えて、観光振興を始めとした地域の活性化に伴う訪問客の増加への対応のため、地域の道路を整備するとともに、道路から連続性を持った歩行空間を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「竹の里・乙訓エリア」の観光振興 13,000千円 ・新たな交流拠点を核としたスポーツの推進 70,000千円 ○拠点整備事業 ・向日町競輪場敷地再整備 建築物新築工事 10,000千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 248,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+2,510百万円） ②地域への訪問客数（+100万人） ③住んでいる地域に、にぎわいや活気があると思う人の割合（+15%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

事業概要：京都舞鶴港大野辺緑地を中心とした持続的な賑わい空間創出事業

新規

申請者	京都府、舞鶴市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R13年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	976,700千円 (31,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・京都舞鶴港第2ふ頭・大野辺緑地・第4ふ頭の面的整備を軸に、情報発信拠点の整備と港イベント・社会実験の定着化、シャトル・シェアモビリティ・徒歩圏観光等による回遊性向上、およびクルーズ受入の多言語化と動線・景観を含む道路整備を一体で進める。これにより、クルーズ旅客を含む来訪者の消費を、市街地・商店街・港湾エリア内の飲食・小売・水産加工・工芸等の地元事業者の販路・収益機会へ確実に波及させ、地場産業の付加価値向上と経済波及効果の最大化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・舞鶴港第2ふ頭周辺の大野辺緑地を中心としたエリアにおける賑わいを創出し、地域住民や来訪者が日常的に立ち寄れる空間を形成する。 ・クルーズ船寄港時の近接的な経済波及につながるまちづくりを促進する。 ・みなと緑地PPP(官民連携)の活用により、民間事業者による持続的な運用を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・みなとオアシスを活用したイベントの実施（需用費、委託費）2,000千円 ・シェアモビリティサービスの導入等、港周辺の二次交通の確保（役務費、需用費）13,900千円 ・クルーズ寄港時の観光周遊促進（補助金、委託費）15,800千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	・①市内年間観光消費額（百万円）（+12百万円） ・②クルーズ船受入数（回）（+27回） ・③市内年間観光入込客数（千人）（+103万人） ・④エリアプロジェクトにおけるイベント来場者数（+6.5万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kyoto.jp/chiikisousei/soseikofukin.html （効果検証） https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/keikaku-03/index.html

事業概要：びわ湖疏水船事業を中核とする疏水フィールドミュージアム広域化事業

旧制度（推進）

申請者	京都府京都市、滋賀県大津市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	288,938千円 （30,999千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・官民が連携したプロモーションを展開し、疏水通船及び疏水沿線への誘客を図る。 ・京都から大津・琵琶湖へと広域観光を深化させ、観光需要を創出し、地域経済の底上げを図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大阪万博・2026ワールドマスタースゲームズ関西を見据え、航路延伸先である琵琶湖の大津港を起点とする既存の琵琶湖周辺観光コンテンツとの連携したコンテンツの磨き上げのほか、大津港を起点とする既存の琵琶湖周辺観光との連携やインバウンド、MICEエクスカーション利用促進のためのメニュー開発、宣伝PR等国内外に向けたプロモーションを推進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・航路延伸便と連携した琵琶湖周遊観光事業の磨き上げ 7,333千円 ・疏水ツーリズム促進事業における国内外PRの推進 14,166千円 ・航路延伸便事業化に伴う人材育成等の運営支援 9,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①大津市観光消費額（+1,042億円） ②大津港周辺（浜大津・膳所地区）の来訪者数（+2,934千人） ③びわ湖疏水船教育目的乗船者数（+950人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmsfiles/contents/0000316/316947/R6chihososei.pdf （効果検証） https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000316947.html

事業概要：京都分析・計測プラットフォーム化事業

新規

申請者	京都府京都市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,000,000千円 (1,000,000千円)
事業類型	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業			
目的・効果	分析・計測機器メーカーや大学、産業支援機関等との連携により「京都分析・計測プラットフォーム」を構築するとともに、先進の分析・計測機器を集約した拠点を整備することで、京都市の強みである地場産業の一つである分析・計測機器産業のさらなる発展、地域企業・スタートアップ等への支援の充実を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・「京都分析・計測プラットフォーム」の構築 京都の分析・計測機器メーカー、京都市産業技術研究所ユーザーズコミュニティ、大学、産業支援機関等によるプラットフォームを構築し、分析・計測に関するネットワークを強化する。分析・機器利用による支援を通じて、企業等の製品化・生産性向上を図るとともに、企業等のニーズや依頼から新たな分析手法や機器の開発、人材育成等を実施する。 ・先進の分析・計測機器を集約した拠点整備 多様化する企業ニーズや最新の科学技術等に対応するため、先進の分析・計測機器を（地独）京都市産業技術研究所及び京都バイオ計測センターに整備し、分析・計測に係る技術を集約した拠点とする。							
	【R8年度事業 経費内訳】							
	・分析・計測プラットフォーム（仮称）整備工事 782,000千円 ・分析・計測プラットフォーム（仮称）に係る備品購入費 130,000千円 ・効果促進事業（分析・プラットフォーム（仮称）構築にかかる委託経費・消耗品・イベント・講習会経費等）（補助金）88,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①付加価値額（+135億円） ②新規利用者数（+120人） ③共同研究の件数（+12件）						URL ※交付金の具体的 使途・実施体制・効果 検証の結果及び改善 方策への反映が記 載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要：福知山市・丹波市・朝来市 3市圏域の競争力強化による「稼ぐ地域」創造事業

旧制度（推進）

申請者	京都府福知山市ほか2自治体	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	679,178千円 (112,912千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的・効果	古くから生活文化や経済産業面など、多面的に人・モノの交流が活発に行われる3市において、多様な人材の集う圏域づくりや交流人口を含めた圏域への新たな人の流れを作り出すことにより、圏域への一体的な人・モノ・金の流れを作り出し、「稼ぐ地域」をめざす。			
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な担い手を育成し、圏域全体の生産性を向上させていくとともに、圏域の地域産業・観光資源に、「経営力強化・起業促進・担い手確保」、「ICTの活用や人材の育成によるデジタル実装」、「地域ブランディング」、「地域の大学の知見を活用したコンソーシアムの立ち上げ」等により競争力を強化し、圏域への一体的な人・モノ・金の流れを作り出し「稼ぐ地域」をめざす。			
	【R8年度事業 経費内訳】 ・起業・経営力強化促進事業（委託料・補助金）22,488千円 起業者育成実践型支援や起業者への補助金交付を実施 ・広域観光推進事業（委託料・補助金）29,568千円 食に関する取組みへの支援や観光推進組織への補助金交付を実施 ・シティープロモーション促進事業（委託料等） 26,363千円 ブランディング事業や観光情報発信事業を実施			
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①起業支援制度を利用して起業した事業者数及び事業承継した事業者数（+38件） ②圏域内事業所への新卒就業者数（+33人） ③圏域内主要観光施設の観光消費額（+1,101,589千円） ④産学官連携による地域課題解決策の社会実装件数（+5件）		URL ※交付金の 具体的使途・ 実施体制・効 果検証の結果 及び改善 方策への反映 が記載されて いるURL	https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/1/69286.html

事業概要：デジタル化推進事業

継続

申請者	京都府福知山市ほか6自治体					初回採択回	令和7年度第1回募集		
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	28,706千円 (6,800千円)		
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業				
目的・効果	・圏域内事業所のデジタル化及びDX推進により労働力不足解消並びに生産性・サービスの質の向上を図るとともに、就労環境を整備することで若年労働者の定着及び離職防止につなげる。 ・若年労働者（40歳代以下）に選ばれる事業所を育成し、事業所の持続可能性を高める。 ・圏域内事業所及び北部7市町の各自治体がDXを推進することで、日常生活における各種サービスでオンライン化や省力化・自動化を促進し、住みやすいまち・働きやすいまちを実現し、子育て世代の定住と市外からの移住促進につなげる。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・各市町、商工団体、福知山公立大学等と連携して北京都デジタルパークを開催し、圏域内企業・事業者がDX技術や導入事例に触れる機会、サービス提供事業者と接点を持つ機会を創出する。 ・北京都デジタルパーク等において、DXに興味関心を持たれた事業者を主な対象として、福知山商工会議所及び福知山商工会にデジタル化・DXに関する相談窓口を設置し、市内事業者のDXを促進する。								
	【R8年度事業 経費内訳】 ・北京都デジタルパーク開催事業（負担金）5,800千円 北京都デジタルパークを開催し、圏域内企業・事業者がDX技術や導入事例に触れる機会、サービス提供事業者と接点を持つ機会を創出する。 ・中小企業デジタル化・DX化推進事業（委託料）1,000千円 福知山商工会議所及び福知山市商工会にデジタル化・DXに関する相談窓口を設置し、市内事業者のDXを促進する。								
主なKPI	①DX導入事業所数（北京都デジタルパークの来場事業者でDXを導入した事業所数）（+80社） ②DX導入による業務省力化割合（導入事業所の平均値）（+20%） ③テレワークを常時行っている人の割合（+0.8%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/1/69286.html	

申請者	京都府福知山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	10,814千円 (3,655千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	路線バスの廃線により、交通空白地となる地域において、地域住民の生活移動手段となる乗合タクシーを運行することで、交通空白を解消し、中山間地の過疎地域においても住民の活力ある生活を守る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 丹後海陸交通バス福知山線の廃線により、交通空白地となった北陵地域において、地域住民の生活移動手段となる乗合タクシーを運行するものである。また、運行は、定時不定路線のデマンド型とし、タクシー事業者に運行を委託することで、既存の交通資源を最大限に活用し、安全性・利便性を確保する。					官 福知山市 経費の支援や制度上の調整を行う。 民 地域住民組織 地域のミクロな移動需要を把握し、必要な運行を実施する。 産 タクシー事業者 高い専門性を有し、安全で確かな移送サービスを提供する。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・乗合タクシー事業（補助金）3,655千円 北陵地域において、地域組織が実施主体となり、デマンド型の乗合タクシーを運行することに対し、運行経費の補助を行う。						
主なKPI	①市民1人あたりの年間路線バス利用回数（+1.6回） ②乗合タクシーの平均乗車人数（+2.0人） ③乗合タクシーの運行回数（+580回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/1/69286.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：観光アクションプラン推進事業

継続

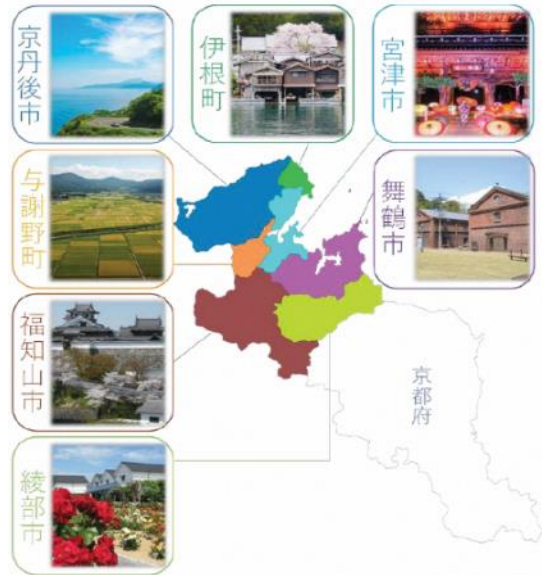
申請者	京都府福知山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	52,938千円 (18,246千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・行政と市内観光事業者等14団体で策定する「福知山観光アクションプラン」に基づき、商都として発展してきた本市に「観光で稼ぐ」新たな要素を創出し、観光入込客数及び観光消費額の増加を図る。 ・「通過地」から脱却を図り、国内外の観光客から選ばれる「滞在地」を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和6年度に、市内の観光団体等と連携して、インバウンド、滞在型観光（宿泊客、日帰り客）等のターゲットや各団体の役割を明確化した「福知山観光アクションプラン」を策定した。本年度は、当該観光アクションプランに基づき、より戦略的な観光施策の展開によって、観光誘客、消費促進等を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○福知山市への観光誘客、消費促進を図るために官民連携で実施する事業食に関する取組みの実施（補助金等）15,646千円 食に関する取組みに対する支援や観光誘客に資する取組みに対する支援する。 ○福知山城等景観整備事業（委託料）2,600千円 福知山城の樹木等を景観面、安全面から整備することで魅力向上を図る。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+56万人） ②観光消費額（+13億円） ③宿泊客数（+10万人） ④外国人宿泊客数（+5,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（効果検証） https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/1/69286.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	京都府福知山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	68,955千円 (22,985千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・現在市内に複数存在する起業支援窓口を福知山産業支援センターに集約化し、商工団体、福知山市役所、福知山公立大学等の各業務をワンストップで提供する体制を構築する。 ・本市産業の新たな担い手となり得る若者や女性の起業家の育成を行うことで地域経済の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・福知山産業支援センターに起業・経営相談窓口を集約化し、商工団体、福知山市役所、福知山公立大学等の各業務をワンストップで提供する体制を構築する。 ・人口減少及び生産年齢人口の減少が深刻化している本市産業の新たな担い手としての女性起業家を育成する。 ・地域内の若者の起業に対する機運醸成を図るため、大学生の起業や事業拡大の支援として相談業務を実施するほか、市内の高校生向けの起業入門講座を実施する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 福知山産業支援センターにおいて本市の起業を志す人の課題解決に向けた支援と事業者の事業拡大を図るための産学官連携による新商品開発・販路拡大を支援する事業（委託料）22,985千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 起業支援制度を利用して起業した事業者数（+96人） ② 販路拡大や売上up等につながった事業者数（+300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.dokkoise-biz.com

事業概要：持続可能な京都府北部連携都市圏推進事業

新規

申請者	京都府福知山市ほか6自治体					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	484,509千円 (163,503千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	構成市町それぞれがまちづくりの一義的な主体となりながらも「選択と集中」「分担と連携」をコンセプトに、各分野における連携施策に取り組み、相互に補完しながら水平型の連携による「機能的合併」を推進する。また、「付加価値創出型の持続可能な圏域経済の創出」、「多様な人材に選ばれる都市圏の形成」「生活基盤の維持・強化」に協働・連携して取り組むことによって、「人口減少に対応し、持続可能な暮らしと活力を紡ぐ連携都市圏」の形成を目指し、地場産業の付加価値向上や地域経済の拡大に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・観光戦略拠点の高付加価値化の取組を強化し、インバウンド需要の取り込みの推進、さらには、農林水産物についても圏域外への販路拡大や高付加価値化を推進することで、付加価値創出型の圏域経済の創生を展開する。 ・圏域にある医療・福祉、教育、文化、商業等の機能・施設の相互利用や連携を促進しながら、多様な人材に選ばれる都市圏の形成を目指す。 ・人口減少や少子高齢化等の人口構造の変化を直視し、圏域内で有する生活基盤の向上に資する取組を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・人材確保・育成事業等付加価値創出型の持続可能な圏域経済の創出（負担金等） 22,460千円 ・高等教育機関と連携した圏域づくり事業等多様な人材に選ばれる都市圏の形成（負担金等） 18,480千円 ・生活基盤の維持・強化（委託料等） 2,725千円						
主なKPI	①圏域内人口（▲7,233人） ②製造品出荷額（+118億4809万円） ③移住世帯数（±0件）※人口減少が進む中で現状維持を目標とする。					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/1/69286.html

事業概要：北近畿の産業と暮らしを守り抜く「DX実装支援」
～大学の「知」と「技」を結集した地域内製化モデル～

新規

申請者	京都府福知山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	96,291千円 (32,097千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・新設する「DX実装支援サービス室」がハブとなり、産学が一体となって持続的に成長する新たな産業都市モデルを構築する。 ・中小企業が外部に依存せず、自らの手で既存設備をスマート化し、自らデータを分析し、管理する「内製化能力」を獲得する。 ・人口減少下でも高付加価値を生み出し続ける強靱な経営体質へと進化させるとともに、防災力を企業の競争力へと昇華させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大学に新設する「DX実装支援サービス室」がハブとなり、大学の高度なアセットを開放し、既存のアナログ設備に後付け可能なセンサーやアプリを開発・実装させることで、低コストでの生産性向上を支援する。また、大学の解析機能を、企業のデータ化・可視化基盤として提供する。現場から収集した稼働データ等を大学側で分析させ、生産工程の改善や在庫適正化に向けた科学的根拠を企業へフィードバックすることにより、経験と勘に頼る経営からの脱却を促す。DX技術を活用してBCP（事業継続計画）の実効性を高め、災害時等の緊急事態においても事業を早期復旧できる「止まらないサプライチェーン体制」を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・DX実装支援サービス室整備事業（委託料）17,797千円 ・DXソムリエ育成（委託料）9,400千円 （人件費）3,300千円 （報償費・旅費）1,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域実装プロジェクト解決数（+50件） ②地域DXソムリエ実践認定数（+40人） ③センター運営間接経費獲得額（+600千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/1/69286.html

事業概要：旅するギフト直送便事業

新規

申請者	京都府福知山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	23,271千円 (7,757千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・情報拠点（ハブ）を介して『観光・農業・物流』が三位一体となり、外部からの資金を効率よく域内へ還流させることで、持続可能な都市を形成することを目指す。 ・稼ぐ観光と農業の融合（アグリ・ツーリズムの進化）及び公民連携による「自走する地域運営」を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・観光案内所と大阪のアンテナショップが「在庫を持たない情報拠点（ハブ）」となり、福知山の特産品を観光客から生産者へダイレクトにつなぐ産地直送型サービスを提供する。 ・「手ぶらで楽しみ、自宅で味わう」を事業のコンセプトとし、観光客は荷物の負担なく買い物を楽しみ、生産者は最も美味しい状態の産品を直接届けることができる仕組みを構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○大阪のアンテナショップと福知山駅の観光案内所をハブとした観光誘客、消費促進を図ることを目的に「旅するギフト直送便事業」を実施する。 ・農産物や体験型観光コンテンツなどの企画、販売業務（委託料<人件費、需用費、広告費、役務費、備品経費>） 7,637千円 ・市長による販路開拓等のためのトップセールス（旅費） 120千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間販売額（+4,710千円） ②年間注文件数（+1,600件） ③販売手数料収入（+470千円） ④参画事業者数（+50者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(効果検証) https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/1/69286.html

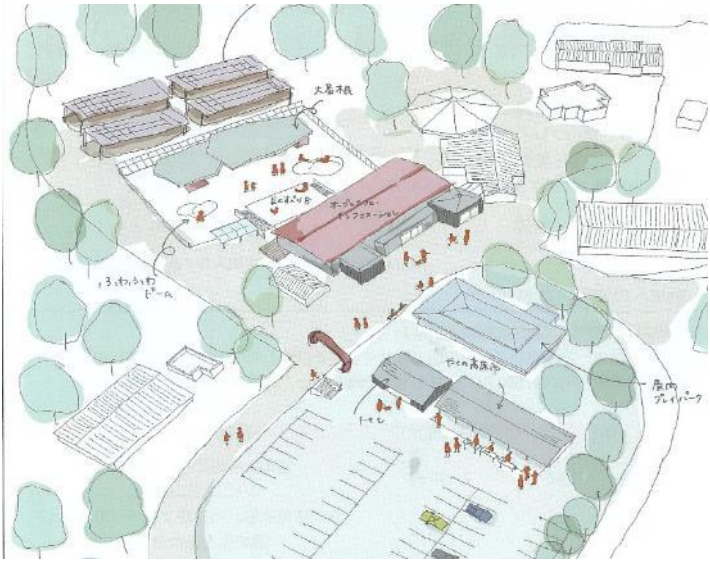
事業概要：福知山市大江町和紙伝承館魅力向上プロジェクト

新規

申請者	京都府福知山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	14,346千円 (5,046千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・我が国古来の伝統製法を守る「丹後二俣紙」の展示・啓発施設「福知山市大江町和紙伝承館」を、文化継承(学びと担い手育成)と観光・産業振興(体験と消費の創出)を同時駆動する中核拠点に再定義して機能と役割の充実を図る。 ・地域住民が伝統文化に主体的に関わり、誇りと愛着を持って暮らし続けられる地域づくりを進めることで、和紙文化の振興をテコとして「文化が継承され、文化で稼ぎ、担い手が育つ」好循環を確立し、交流人口・関係人口の拡大と地域経済への波及による持続可能な地域の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・市営施設「福知山市大江町和紙伝承館」を中核に、丹後二俣紙の文化価値を「体験で実感させ、購買と発信につなげ、収益を継承と人材へ再投資する」仕組みを実装し、好循環の確立を目指す。 ・事業1年目は和紙伝承館を体験型施設へ転換するための体制整備及びデジタルサービスとインバウンド向けサービスのための基盤整備を行う。					 福知山市大江町和紙伝承館  伝統製法を守る丹後二俣紙	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・DMOや観光協会等と連携した運営体制強化事業（人件費、委託料、需用費、役務費）4,592千円 ・観光DX・インバウンド対策事業（備品購入経費）454千円					 誰でも手漉和紙製作できる施設へ  館内の外国語対応・動画機能充実 紙漉き (Methods of Paper making)  大学との新商品共同開発（ランタン）	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①福知山市全域の観光消費額（+1,500万円） ②大江地域の観光入込客数（+1万5千人） ③福知山市大江町和紙伝承館の年間入館者数（+1000人） ④和紙の新商品開発、新サービスの実装（+12件） ⑤技術継承者の育成（+1人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/1/69286.html

事業概要：道の駅「農匠の郷やくの」再生による体験・滞在型交流拠点形成事業

新規

申請者	京都府福知山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	733,400千円 (56,980千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・道の駅「農匠の郷やくの」を単なる休憩・直売施設としてではなく、市内観光周遊の拠点となる滞在型交流拠点として再構築し、来訪者の消費行動を地域内に取り込むことで、地場産業の売上向上及び、市全体の観光消費額拡大を図る。 ・道の駅「農匠の郷やくの（ファームガーデンやくの）」の施設来訪者・施設内消費額の増及び、市内観光入込者数の増・市内観光消費額の増といった観光波及効果を見込む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・地域農林産物を活用した飲食・物販の高付加価値化、体験型コンテンツや全天候型遊戯施設の導入による滞在時間延長、民間ノウハウを活用した収益性重視の運営を一体的に実施し、「集客→滞在→消費→市内回遊→地場産業売上増」という経済循環モデルを構築する。また、遊戯施設や体験プログラムは飲食・物販・体験への波及を生む“消費創出エンジン”として位置づけ、施設内消費に加え、市内周遊による観光消費の増加を含めた市域全体への付加価値創出をめざす。						
	【R8年度事業 経費内訳】						
	【拠点整備事業】 ・道の駅「農匠の郷やくの」施設改修に係る設計業務 56,980千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市観光入込客数の波及増（+30,870人） ②市観光消費額の波及増（+1億110万円） ③施設来訪者数（+63,000人） ④施設売上高（+2億3,103万円） ⑤体験プログラム・イベント実施回数（+1,095回） ⑥体験プログラム・イベント参加者数（+22,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/index2.html

事業概要：若者が主役となる「未来創造・舞鶴」人材創出プロジェクト

新規

申請者	京都府舞鶴市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	185,246千円 (54,282千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若者が地域で安心して過ごせる居場所や活動の場を創出し、地域経済の担い手となる若者の定住・還流につなげる。 ・シビック・プライドや地域への愛着を醸成する取組を展開し、関係人口を含めた次世代の地域の担い手を確保する。 ・アントレプレナーシップ教育やデジタル人材育成、ローカルベンチャー創業支援を通じ、持続可能な地域経済を支える人材の創出、地域産業の高付加価値化と生産性向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 こども・若者の地域での活動、フリースクールへの支援を行い、居場所づくりを通じて次世代の地域への定着を図る。ビジョンピクチャーの作成を通じたまちの未来の目指す姿の可視化や、市外在住者のコミュニティ創出を通じ、関係人口も含めてまちづくりに主体的に携わる担い手を確保する。また、デジタル人材の育成やローカルベンチャーの創業・伴走支援を行うことで、地域産業の担い手育成と新たなビジネスの創出を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・こども・若者の地域活動支援（補助金）2,600千円 ・2040ビジョン作成事業（委託費ほか）10,500千円 ・ローカルベンチャー創生事業（委託費、補助金）29,800千円 ・舞鶴高専との連携による人材育成事業（委託費）5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①20～29歳人口減少率（▲3.0%） ②本事業を活用した地域活動へのこども・若者の参加者数（+2,300人） ③創業支援者数（+83人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：「赤れんが・海・歴史」高付加価値型観光推進プロジェクト

新規

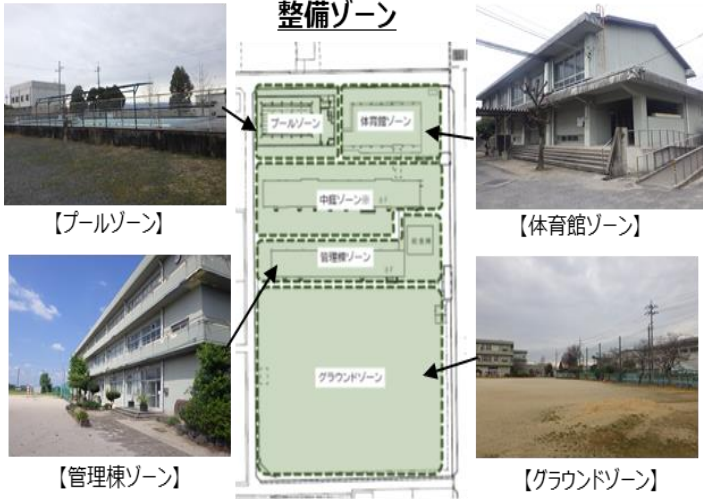
申請者	京都府舞鶴市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	182,211千円 (81,257千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「赤れんが」「引揚の史実」「食」等の本市固有の地域資源を最大限に磨き上げることで、通過型から滞在型観光への転換を図り、稼ぐ産業構造の確立と地域経済の自立的拡大を目指す。 ・ストーリー性を重視した高付加価値な体験・滞在コンテンツの造成により、交流人口の拡大と観光消費額の拡大につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「引揚の史実」や「舞鶴かに」等の発信強化や、映画や朗読劇等のコンテンツと連携したプロモーションの展開により、地域資源の高付加価値化を図り、消費拡大につなげる。また、主要駅と観光戦略拠点「赤れんがパーク」を結ぶ周遊路の美装化・サイン整備を行うことで、快適で魅力的な受入環境を創出し、滞在型観光への転換を促進する。					現状と課題 主要施策：高付加価値化 目指す姿と成果	
	【R8年度事業 経費内訳】 【ソフト事業】 ・水産ブランドプロモーション事業（委託費）2,804千円 ・朗読劇連動観光誘客プロモーション事業（委託費ほか）2,644千円 【インフラ整備事業】 ・道路整備事業 53,100千円 主要駅と観光戦略拠点「赤れんがパーク」とを結ぶ街路整備を行う。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+46.8億円） ②観光入込客数（+987千人） ③観光宿泊客数（+160,253人） ④一人あたりの観光消費単価（+881円／人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

申請者	京都府綾部市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	577,536千円 (75,886千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・貴重な伝統産業を未来へ承継するため、黒谷和紙協同組合の黒谷和紙会館（工房）と市の黒谷和紙工芸の里の機能を集約する拠点施設を整備することにより、黒谷和紙の生産性の向上と観光入込客数の増加を図る。 ・黒谷和紙は、長い歴史と伝統を持つ貴重な観光資源であり、インバウンドも含めた安定的な集客と和紙の生産、加工、販売を通して、産地だけでなく周辺地域にも一定の経済的効果を波及させることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 黒谷和紙の発祥の地で原材料等の保管や生産の拠点である黒谷和紙会館の工房と、多人数の見学や体験の受入が可能な黒谷和紙工芸の里の2拠点の機能を1か所に集約し、分散していた経営資源の集中による生産性向上と設備・体制面から需要に応えられていなかった観光誘客を図る。さらに、公設民営の施設として安定的な運営を目指すとともに、黒谷和紙協同組合の将来負担を軽減するほか、体制強化と収益性の向上を図る中で、本市や地域において貴重な伝統産業であり観光資源でもある黒谷和紙の更なる振興と発展を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・黒谷和紙拠点施設に係る実施設計業務委託 38,386千円 ・黒谷和紙拠点施設連絡橋整備工事 37,500千円					生産性向上と観光誘客増加で伝統産業を承継	
主なKPI	①黒谷和紙協同組合売上額（+11,500千円） ②来館者数（+2,200人） ③黒谷和紙職人の数（+2人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ayabe.lg.jp/0000002649.html
	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						

事業概要：宇治市・天ヶ瀬ダムかわまちづくり事業

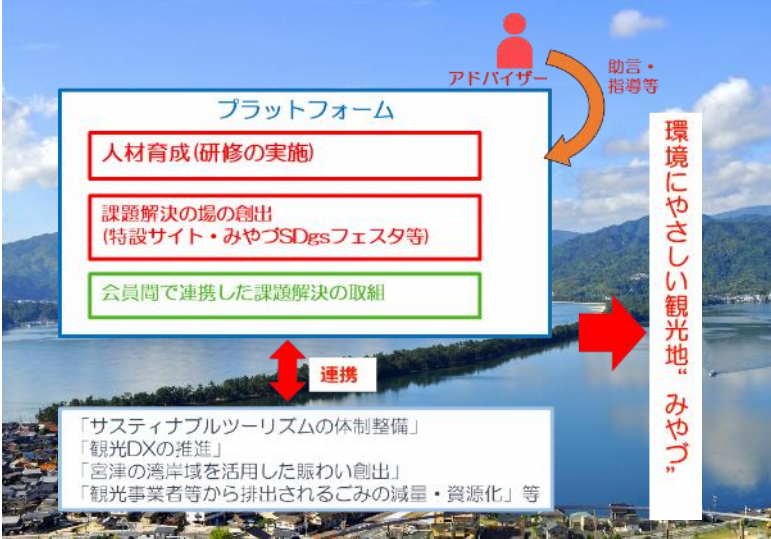
継続

申請者	京都府宇治市					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,260,296千円 (125,650千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・天ヶ瀬ダム周辺の豊富な地域資源を活かして、新たな観光拠点群を形成し、魅力的な名所巡りの他、民間によるEボート・ダムツアーなどのアクティビティや宇治川の歴史・伝統文化に触れる体験型ツーリズムの提供を通して、「かわ」と「まち」の賑わいづくりを創出することで滞在時間を伸ばし、観光消費額の増加など市内経済への波及効果をもたらす拠点整備を行う。 ・新たなアクセス手段を導入し、観光客が集中する宇治橋地区とダム周辺の回遊性を生み出し、広域観光を推進することで観光キャパシティの拡大を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・天ヶ瀬ダム周辺の国有地等を活用し、左岸の旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地に展望スポット及び観光駐車場、右岸に放流を間近に見渡せるダム直下広場、Eボート等の発着広場の他、宇治川周辺の観光資源の磨き上げにつながる環境整備を行い、ダムから宇治橋地区までの川辺の賑わいづくりに取り組む。 ・整備箇所は都市・地域再生等利用区域の指定（オープン化）を行い、民間と行政が連携し、地域の稼ぐ力を高める魅力的な川辺空間を創出する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地に観光駐車場及び展望スポット整備 112,000千円 ・天ヶ瀬森林公園再整備 13,650千円							
主なKPI	①観光消費額（+500百万円） ②天ヶ瀬ダムの来場者数（+26,000人） ③体験・アクティビティの満足度（+5%） ④ダム体感ツアーの開催回数（+15回） ⑤体験型川下り等の開催回数（+19回）					URL	https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/57/5231.html	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

申請者	京都府宇治市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,996,570千円 (238,510千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・小中一貫校整備に伴い廃校となる北小倉小学校跡地を活用し、「スポーツ・遊びの場」を創出し地域の核を形成することで、人や地域のつながりの交流促進と地域経済の拡大や、スポーツ活動を通じた市民の心身の健康づくりとウェルビーイングの向上、子どもが元気いっぱい遊ぶことができる場を活用した魅力の発信・向上によりシビックプライドを醸成し、持続可能な地域社会の実現を目指す。 ・隣接する西宇治公園との連携を図りながら、市内にこれまでなかったアーバンスポーツができる公園とすることで、若者を中心とした多様な世代に選ばれる魅力的な地域づくりに取り組み、当施設を核とした交流人口の拡大や都市の魅力増進によって、産業の更なる付加価値向上や販路開拓等を支援し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「北小倉小学校跡地活用基本構想」に基づき、小学校跡地を活用してアーバンスポーツができる都市公園として整備を行うことで、スポーツを通じて地域が賑わい、地域が活性化するスポーツの拠点を創出する。また、小学校跡地の施設有効活用を前提として、グラウンド・体育館・管理棟・中庭などを整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・旧校舎を改修する実施設計 12,510千円 ・施設整備のための校舎の一部を解体 140,000千円 ・周辺環境整備のため道路工事 86,000千円						
主なKPI	①宇治市人口の社会増減数[転入者数-転出者数] (+164人) ②市民の宇治への愛着 (+6%) ③年間開催イベント数 (+20件) ④スポーツを通じて連携した大学、企業等の数 (+2件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.uji.kyoto.jp/soshiki/57/5231.html

事業概要：環境にやさしい観光地“みやづ”推進事業

旧制度（推進）

申請者	京都府宮津市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	9,904千円 (2,562千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・環境にやさしい観光地づくりに向け、様々な団体、事業所、市民が参画し、各種課題を解決する仕組みを作り、それぞれが環境にやさしい取組を積極的に展開し、環境という新たな切り口から観光地としての魅力を向上させる。 ・観光を核とした地域経済の活性化を図り、1人あたりの市民所得を増やしていく。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 子ども向けの研修やみやづSDGsフェスタの開催などにより、環境にやさしい観光地づくりに向けた取組の普及啓発や情報発信の場の創出、オンラインサロンの構築により、事業者や市民の取組を進めることで、環境にやさしい観光地づくりを推進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○環境にやさしい観光地づくりに向けた人材育成（講師謝礼、講師旅費）196千円 ・次代を担う子どもたち（小中学生）対象の研修を実施する。 ○環境にやさしい観光地づくりに向けた課題解決の場の創出、取組の推進、事例の発信（委託料・消耗品費等）2,366千円 ・特設サイトの運用、みやづSDGsフェスタ開催、取組の推進に係るアドバイザーの伴走支援を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額(+32億円) ②プラットフォームにおける取組数(+12件) ③プラットフォーム会員数(+90会員)	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.miyazu.kyoto.jp/life/8/63/

事業概要：アートと公園が織りなす、多世代交流と持続可能なまちづくりプロジェクト

継続

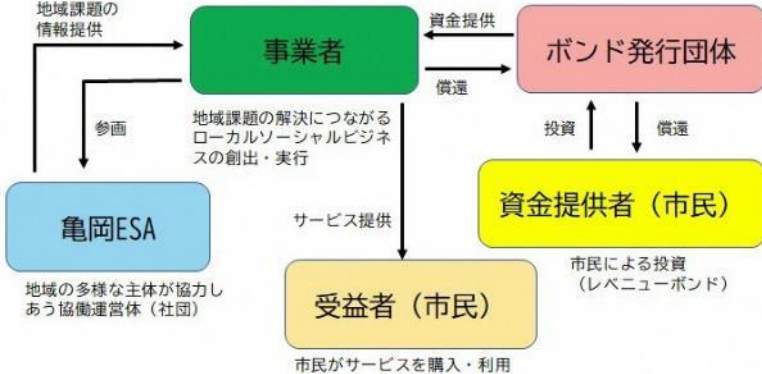
申請者	京都府亀岡市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	481,300千円 (63,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・亀岡運動公園と京都・亀岡保津川公園およびJR亀岡駅周辺にアートの視点を取り入れ、市内の観光資源と連携することで亀岡市の課題であった市内周遊を促し、地域文化創造を核とした公園の活性化を目指す。 ・地域への愛着を醸成するようなワークショップ等を実施することで、多世代交流を促進し、担い手の育成を図る。また、各公園にユニバーサルデザインの園内環境を整備し、地域住民のコミュニティへの参加を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・亀岡運動公園と京都・亀岡保津川公園及びJR亀岡駅周辺に、地域住民やアーティストが制作した作品を展示することで、観光資源および地域コミュニティの拠点として再整備する。 ・環境保全をテーマにしたワークショップ、マルシェを定期的に行うことで、多世代が交流し、地域に根差した創造的な活動が年間を通じて展開される持続可能な「交流拠点」を創出する。					 京都・亀岡保津川公園	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・アートを活用した魅力ある公園整備を行うため、アート作品の制作や体験プログラムを実施（委託料）41,300千円 ○インフラ整備事業 ・竹造四阿整備等 22,000千円						
主なKPI	①観光客の年間消費額（+33.6億円） ②公園を活用したアップサイクルやアートに関連するワークショップ及び展示会の開催件数（36組） ③公園の年間延べ利用者数（+57,000人）					URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/8/84347.html （効果検証） https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/7/1885.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：エコロジックミュージアム事業

新規

申請者	京都府亀岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	79,356千円 (8,140千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市民・事業者・金融機関・行政が連携し、地域課題をビジネスで解決する「地域循環型の官民連携プラットフォーム」を構築し、シビックプライド醸成・定住人口増・関係人口拡大につながる新たな地域参画モデルの実装を目指す。 ・第1弾事業として、食・観光・文化を結ぶ体験価値を創出するオーガニックテロワールを実施し、交流人口の拡大と国内外の需要を取り込み稼ぐ力を強化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 これまで進めてきた環境先進都市としての取組をさらに発展させ、環境再生、互助・共助、地域内経済循環が調和する持続可能なまちづくりを目的とする。市民、事業者、金融機関、行政が連携し、地域課題を新たなビジネスや市民参画によって解決する地域循環型の官民連携プラットフォームの構築を目指す。あわせて、市民が出資・参画できる地域版レベニューボンドの開発により、地域内で資金が循環する持続可能な地域経済モデルの実装を図る。その第1弾として、オーガニック農業を核に食・観光・文化を結ぶ「オーガニックテロワール観光（亀岡STYLE）」の確立に取り組み、地域資源の高付加価値化、観光回遊性の向上、市民参加型のまちづくりを進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域循環型官民連携プラットフォーム構築事業等 亀岡ESAの事業計画支援、オーガニックテロワール事業構想計画の立案支援、レベニューボンドの体制構築検討支援、外部専門家等のアドバイザリー 費用：（委託料）8,140,000円					・ローカルソーシャルビジネスの最小のテーマとして、オーガニックテロワールワーキンググループを亀岡ESA内に設置 ・オーガニック農業×加工販売×文化芸術×観光の商品開発・テストマーケティングによるオーガニックテロワール市場の開発 ・市民の出資（レベニューボンド発行）で集まった資金は、事業者の活動資金等に利用。	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間観光消費額（＋4.9億円） ②一般社団法人に参画する事業者・団体数（＋15者） ③亀岡ファン会員登録数（＋3,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/8/84347.html （効果検証） https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/7/1885.html

事業概要：（仮称）キッズステーション整備事業

新規

申請者	京都府亀岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	458,490千円 (454,590千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・道の駅「ガレリアかめおか」内の中心部にある図書館ガレリア分館をキッズステーションとして、子どもや親をはじめとした様々な世代が生涯学習やコワーキングができる子育ての象徴的な施設に再整備することで、来館者の増加による地場産業の支援に繋げる。 ・本施設を活用し、市内外の子育て世帯を対象とした科学、アート、音楽などの体験型ワークショップを定期的開催する。子どもたちの好奇心を引き出すことで、遊びや学びなどの多くの体験を通して、自主性や知識を身に付け、将来に向かってチャレンジする子どもを応援する施設を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・「仮称）キッズステーション」は、誰もが自学教育できるスペースやくつろげるスペース、Wi-fi環境を整えたワーキングエリア等を整備することで、親世代と子ども世代が触れ合い、くつろぎ、学ぶ等のフリースペースを創造し、幅広い活動拠点とする。 ・市内外の人を対象に、親子で参加できる科学、アート、音楽などの体験型ワークショップを定期的開催し、子育てしやすいまちをPRするとともに、子育てしやすいまちづくりを促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・展示物作成ワークショップ事業（委託料） 1,000千円 ○拠点整備事業 ・既存施設をキッズステーションとして整備する建設工事 453,590千円						
主なKPI	①地域の社会増減人口（+60人） ②施設の年間来場者数（+27,500人） ③事業への市外からの参加者数（+480人） ④ボランティアの参加者数（+60人）					URL	（交付金の具体的使途・実施体制）
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/8/84347.html （効果検証） https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/7/1885.html

事業概要：歴史的文化的な古民家改修による観光経済活性化事業

新規

申請者	京都府亀岡市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	301,612千円 (22,940千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・通過型観光の観光資源が多く、滞在時間や観光消費額の伸び悩みがある本市において、亀山城家老屋敷の長屋門を移転されたといわれる古民家「毘沙門荘」を文化交流体験の拠点として整備する事により、亀岡市の魅力発信を行うと共にこうした体験を基軸とした「滞在型」観光の機能を持たせ、地域の文化振興と空き家利活用の促進及び観光消費額の拡大を図る。 ・ふるさと住民制度などを活用した関係人口を呼び込み関係性を深める関係人口案内所の機能を持たせ、関係人口の定着を促し、継続的に地域と関わることで関係人口による地域の魅力発信と、地域の担い手不足を解消する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 映画のロケなどにも使用されている空き古民家「毘沙門荘」を文化体験や交流、宿泊できる文化交流体験施設として改修し、文化体験や宿泊を通じてインバウンド等の誘客による当該地域及び本市全体の観光消費を高める。また、川東地域の観光ハブとして周辺の飲食店や工房などと連携し、地域活性化を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・文化交流体験施設「毘沙門荘」の実施設計：22,940千円 【整備内容】 ・文化交流体験スペース ・宿泊用寝室 ・土間キッチンスペース ・観光発信拠点 等の整備						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 毘沙門荘により生じる地域の観光消費額（+22,227千円） ② 毘沙門荘の延べ利用者数（+720組） ③ 川東地域の関係人口（+15,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/8/84347.html （効果検証） https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/7/1885.html

申請者	京都府長岡京市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	44,139千円 (12,976千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・DX化の推進により、若年層のまちづくり活動への参画意識の醸成もさることながら、現在の担い手に対する受け入れ意識や風土の醸成により活発な多世代交流を生み出し、スムーズな担い手の世代交代につなげ、健全な組織の新陳代謝を図る。 ・市民活動サポートセンターの充実により、市民活動の活性化と新たな担い手を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・自治会運営におけるデジタル化およびデジタル人材を育成することにより、自治会運営の負担軽減及び若年層の自治会参画率の向上を図るため、システムの導入・運用および研修や活用事例等の周知を支援する。 ・市民活動サポートセンターを運営し、市民活動や地域活動団体への支援や、行政や企業、団体同士などの協働を支援する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○自治会のデジタル化支援事業 ・自治会長会への支援（補助金）：1,161千円 ○市民活動サポートセンター事業 ・相談業務・協働コーディネート等委託（委託料）他：11,815千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①自治会サポ！登録件数（+4,500件） ②市民活動サポートセンター相談件数（+60件） ③補助金新規申請件数（+3件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/soshiki/15-2-1-0-0_6.html

事業概要：中心市街地活性化事業～まちなか賑わいプロジェクト～

旧制度（推進）

申請者	京都府京田辺市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	234,400千円 (42,980千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	中部地域の拠点（近鉄新田辺駅、J R 京田辺駅周辺）周辺におけるポテンシャルを生かして、便利で魅力ある中心市街地の形成を通じて、地域内における人とカネが循環する流れを創出するとともに、中心市街地にふさわしい賑わいと魅力を活力の基盤として求心性を高める。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中心市街地の賑わいづくり支援と事業者の快適な事業環境の整備、中心市街地における観光拠点の整備、専門人材の招へいによる観光振興の中核拠点の強化と市内外からの消費の誘導、新たなイベントの開催による人とカネの流れづくりを行うことで、観光消費を含めた消費拡大を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・商店街にぎわいづくり支援事業及び市内事業者強み創造、経営力強化支援（補助金等） 5,902千円 ・観光振興を通じた地方創生関連業務委託経費及びイベント等運営費（委託料等） 12,378千円 ・「京田辺市民まつり」開催費用（補助金） 24,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①市内事業者への強み創造、経営力強化支援による開発新製品数（+30点） ②新たな観光拠点における売上高（+1,700千円） ③観光消費額（+312,230千円）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.city.kyotanabe.lg.jp/0000021684.html

事業概要：文化力を高めて新たなにぎわいづくりプロジェクト

継続

申請者	京都府京田辺市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	149,050千円 (29,080千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の歴史的観光資源である甘南備山や天理山古墳群などを活用し、新たな観光資源の掘り起こしや磨き上げを行うことで地域の魅力を高め、観光客の誘致を図り、まちのにぎわいの創出を図る。 ・2026年には甘南備山嶺にある野外活動センターの民間活力導入によるリニューアル、2027年にはコロナ禍により延期となっていたワールドマスタースゲームズが開催予定で、本市はハンドボール競技の会場となることから、これを機会に、国内及び海外からの観光客を呼び込み、市内周遊や滞在時間の増加、市内での消費額を増加させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 甘南備山、天理山古墳といった観光拠点の整備、ワールドマスタースゲームの開催を通じて地域への誘客力を向上させ、SNS等による情報発信や市内に点在する環境拠点を周遊する事業と組み合わせることで、特に現在誘客に課題がある若者層も含めて、文化・歴史に関心のある観光客を地域に呼び込み、地域経済の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・天理山古墳群保存活用事業 7,905千円 ・若年層をターゲットにした文化イベントの開催・市の魅力発信PR事業 11,675千円 ○拠点整備効果促進事業経費 ・観光案内版、AR制作等 9,500千円						
主なKPI	①観光消費額 (+6,000万円) ②観光入込客数 (+25,000人) ③文化イベント参加人数 (+350人) ④市SNSフォロワー数 (+4,800人) ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.city.kyotanabe.lg.jp/0000021684.html

事業概要：市民がつくる一人ひとりのまちの居場所と関係人口の創出「じぶん・まち・いばしょ」事業

新規

申請者	京都府京田辺市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	785,976千円 (753,614千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・多くの市外住民の昼間流入がある優位性を活かして様々な主体が連携し、新たな活動や交流が生まれる「場」が整備されることで、魅力的な商品・サービスの創出や創業など地域発の新たなイノベーションが促進されることを目指す。 ・地域企業の参画を図ることで、多様な雇用機会の創出にも通じる他、主体的に地域活動に取り組むプレイヤーが生まれるエコシステムを形成し、将来的に地場産業を支える人材の地元定着や新規事業の創出にも繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・大住ふれあいセンターを整備し、タナクロ、南部まちづくりセンター（ミライロ）とともに地域活動の中核拠点と位置づけ、各拠点の魅力を活かした事業を実施する。 ・協働コーディネーターを配置し、拠点間の連携、大学・学生の参画促進を図り、「場」と「人」を整えることで、関係人口と地域をマッチングする中間支援組織の育成に取り組み、主体的に地域活動に取り組むプレイヤーが生まれるエコシステムの形成をめざす。 ・各地域別のニーズを把握すると同時に、既存の公民館等コミュニティ施設、「街区公園」の役割を再定義し、将来的な公民館から集会所への移行や利活用しやすい公園の再設計も見据えた調査・ワークショップを実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・特色ある地域活動拠点を軸とした地域活動の活性化（運営委託料等） 13,791千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 大住ふれあいセンターの改修整備 739,823千円						
主なKPI	・本市における人口の社会増数（+40人） ・地域活動参画人口（関係公共コミュニティ施設の利用者数）（住民+関係人口）（+37,200人） ・協働コーディネーター活用人数（+240人） ・自治会加入率が増加した自治会数（+8件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.city.kyotanabe.lg.jp/000021684.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：自然・文化を織りなし百の才が活き輝くまち京丹後を実現する観光推進事業

旧制度（推進）

申請者	京都府京丹後市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	33,168千円（4,886千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	官民連携で本市の魅力である「産業・歴史・文化・長寿・食」などの資源を磨き上げ、掛け合わせ観光コンテンツとして提供することで、本市の観光面での課題である2季型観光からの脱却や、長期滞在による観光消費額の増加等による地域活性化を実現する。また、これを一時的な取組にせず、新たな誘客、交流、連携、チャレンジを生み出し続ける本市の観光振興基盤の形成を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 民間事業者と連携した地域一体型のオープンファクトリー、本市の魅力である「健康長寿」を最大限に活かしたプロモーション、体験コンテンツ等の展開、銚子山古墳フェスを開始し、誘客を促進するとともに、長期的な滞在を目指しながら観光消費を増やしていく。	 2024美食都市アワードを受賞  日本海側最大の 前方後円墳 「網野銚子山古墳」	
	【主な経費】 ・オープンファクトリー開催経費（負担金）1,500千円 ・“旬”でもてなす食の観光推進事業（負担金）250千円 ・地域ぐるみ観光地づくり事業（補助金）1,548千円 ・網野銚子山古墳フェス開催経費（講師謝金等）1,088千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+26億円） ②観光客入込客数（+35万人） ③宿泊客数（+15万人） ④外国人宿泊客数（+6,000人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/somu/zaisei/7/2/r7_0/20842.html （効果検証） https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/mayoroffice/hishokoho/3/4/1/2294.html

申請者	京都府京丹後市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	107,645千円 (56,210千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・出資110社の協同組合が設置するマテリアル共創ファクトリー(仮称)に北近畿初の加工設備を導入し、地域機械金属業の調達力・競争力強化と高付加価値化を図り、新規分野への進出による新たな成長を促進する。 ・山陰近畿自動車道延伸を機会と捉え、需要が高まり高度化する多様な素材(アルミ等)の資材供給・加工・配送、ファクトリーツアーの提供・異業種連携等により市内事業者の事業拡大など産業の新たな成長を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 マテリアル共創ファクトリー(仮称)を整備し、北近畿初の加工設備を導入する。また、ワンストップ化DXによる需給予測・受発注業務の効率化を図りながら、新たにアルミ等の資材供給・加工・配送に取り組む。さらに、山陰近畿自動車道延伸の機会を捉え、市内製造業との連携や取引につながる企業の誘致、市内事業者の事業拡大に対応しながら、学連携事業、積極的なインターンシップ受入、地域一体型オープンファクトリ、宇宙産業等新分野に取り組み、事業効果を相互に高めていく。					※写真はイメージ 製造品出荷額の増加 地域産業の競争力強化及び新たな成長促進 新規雇用拡大 マテリアル共創ファクトリー(仮称) 新たな加工設備(DX) オープンファクトリー	
	【R8年度事業 経費内訳】 【拠点整備事業】 ・建築物本体工事等 マテリアル共創ファクトリー(仮称)整備事業 56,210千円						
主なKPI	①市内機械金属業における製造品出荷額(+8.60億円) ②市内機械金属業における付加価値額(+47.08億円) ③丹後機械工業協同組合における年間売上高(+18.35百万円) ④市内機械金属業における新規従業員雇用数(+76.0人)					URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/somu/zaisei/7/3/r7/r7_hos-eikoukai/21438.html (効果検証) https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/mayoroffice/hishokoho/3/4/1/2294.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

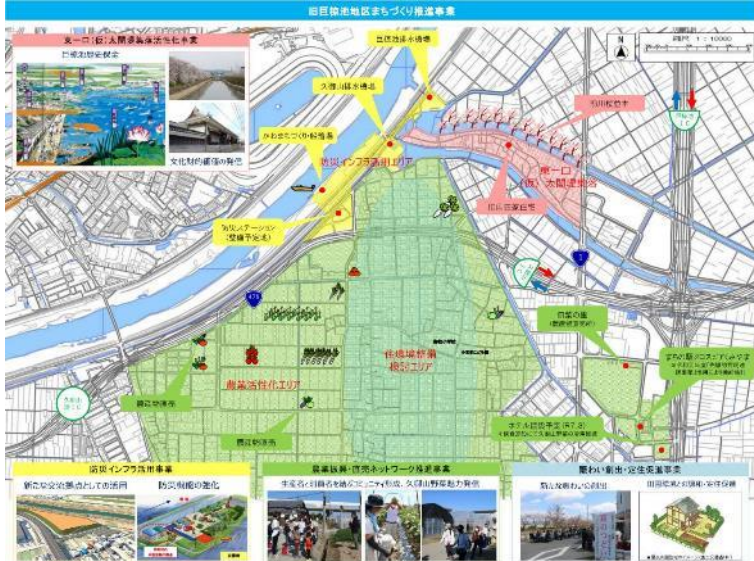
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	京都府京丹後市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,030千円 (20,198千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「美食×健康長寿」という本市ならではの強みを活かし、料理人や食ガイドの人材育成と生産者・料理人・観光事業者の連携によりガストロノミーツーリズムを推進し、観光入込数の増加や宿泊者数平準化を図る。 ・市民参加型で食文化の継承や自然環境の整備を進めるとともに、ポータルサイトを構築し全国15の美食都市とも連携して発信を行うことで地域ブランド力を高め、地場産品の付加価値向上につなげていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「美食都市のまちづくり推進プラン」を策定し、産官学及び市内関係者で構成する京丹後市美食観光都市推進協議会（仮称）を主軸としながら、料理人や食ガイドの育成、旅行商品の開発、受入機能整備など官民連携でガストロノミーツーリズム推進する。またポータルサイトを構築し戦略的な情報発信を行う。					【京丹後ガストロノミーの木 概念図】 Well being 市民総幸福 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・美食都市推進アドバイザー設置（委託費）5,900千円 ・美食観光のまちづくり推進事業（補助金）3,682千円 ・「美食」を生かした観光案内の強化（看板製作等）500千円 ・美食都市ポータルサイト構築事業（委託料）9,000千円 ・市民向け「食」フォーラムの開催（講師謝礼等）750千円						
主なKPI	①年間観光入込客数（+65万人） ②地場産品の販売金額（+300万円） ③「食」のガイド育成講座受講者数（+20人） ④「食」の体験プログラム・旅行商品造成数（+6件）					URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/somu/zaisei/7/2/r7_0/20842.html （効果検証） https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/mayoroffice/hishokoho/3/4/1/2294.html

申請者	京都府南丹市					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	518,740千円 (48,480千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	健康づくり、まちづくり、公共施設再編を一体としたスマートウェルネスシティの実現に向けて、市民の疾病予防とともにウェルビーイング最大化に向けたウォーカブルなまちを市全体に広げ、人々が南丹市に住むことで健康になり、生涯にわたり安心して暮らせるまちづくり（健康寿命の延伸と交通弱者に配慮した、健康に生活でき、利用しやすい公共交通機関を考慮したまち・中山間地に住む高齢者が、買い物、医療、介護など日常生活に不可欠なサービスの持続可能な提供され、住み続けられるまちを目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人と人とを繋げ、地域の魅力を発信するコミュニティ拠点“健幸ラウンジ”を整備する。その拠点を活用するための会員を集め、さらに世代間の交流、地域内外の交流を生み出すためのインフルエンサー（健幸アンバサダー）を育成することで、ウォーカブルなまちの実現を目指す。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・市民アンケートの実施 4,500千円 ・公共施設の健幸ラウンジ化と健幸ラウンジ会員の組成（委託料等） 26,080千円 ・拠点施設プロモーションイベントの開催（委託料） 1,500千円 ・南丹市SWC（スマートウェルネスシティ）推進計画の策定（委員謝金等） 5,500千円 ・地域包括ケアシステムの整備 900千円 ・健幸ラウンジの備品購入 10,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①南丹市全体の人口 （▲495人） ②健幸ラウンジ来場者数 （+6000人） ③健幸アンバサダー等のボランティア人数 （+200人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/gove/134/001/000/index_1018568.html	

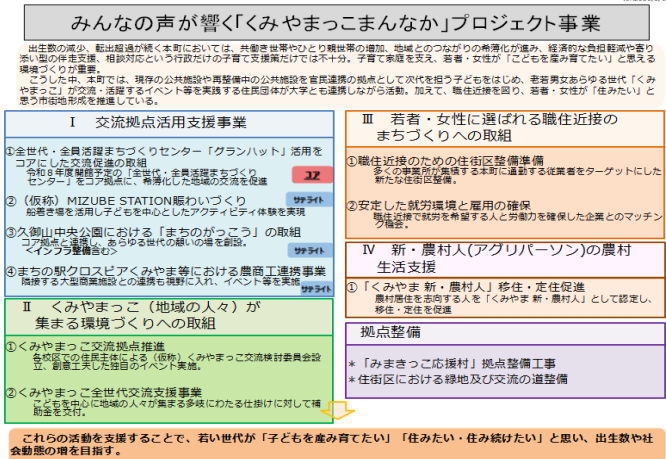
事業概要：旧巨椋池地区まちづくり推進事業

旧制度（推進）

申請者	京都府久御山町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	66,130千円 (6,286千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・旧巨椋池地区（御牧地域）の地域活性化に資する賑わい創出や定住の促進を図る。 ・旧巨椋池地区の自然の恵みを享受する歴史ある街並みと、近代設備等が共存するまちづくりを進め、食や文化、人・もの・情報が交流する要衝としてさらなる発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大阪・関西万博を契機とした舟運活性化に取り組むことで、地域を訪れる交流人口・関係人口の増加を目指す。周辺に位置する巨大インフラの見学や新たな交流拠点としての活用を検討するとともに、隣接する「太閤堤」集落の活性化や、歴史的・自然的美観を利用した「おもてなし」の検討を行う。また、農業振興や賑わいの創出による定住を促進するため、収穫体験や各農業者が取り組む農産物直売のPR、住環境整備の検討を進める。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・太閤堤集落魅力発信事業（委託料等）4,433千円 既存の巨大インフラ及び地域資源との‘おもてなし’イベント等の試行 ・歴史的・文化的真価機運醸成事業（委員報酬）563千円 講演会や特別企画展等を通じてその価値を発信 ・農産物直売PR事業（委託料）465千円 ・府内道の駅等との広域連携イベント開催（補助金）825千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①御牧地域の人口（+30人） ②旧山田家住宅入館者数（+150人） ③東一口桜並木観光入込客数（+600人） ④巨椋池排水機場・久御山排水機場見学者数（+150人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されて いるURL (交付金の具体的使途・実施体制・効果 検証) https://www.town.kumiyama.lg.jp/0000001780.html

事業概要：みんなの声が響く「くみやまっこまんなか」プロジェクト事業

新規

申請者	京都府久御山町					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	620,112千円 (236,727千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	子育ての手厚い支援によって出生数減の抑制を図り、若者や女性に選ばれる「職住近接」のまちづくりを進めると同時に、町外から通勤する昼間人口をはじめ町外の人々に興味を持ってもらう仕掛けと地域の人々が集まる環境づくりを進めることで、町外からの人口流入と現在の住民の町外への流出抑制を目指す。本事業を行うことで、地域経済と行政経営の規模維持を目指し、持続的な発展とともに事業者を含めた住民の安全で安心な暮らしを守る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・現在建築中の「全世代・全員活躍まちづくりセンター」をはじめとした、町に点在する「拠点」での交流人口増を目指すことで町に興味を持ってもらうきっかけを創出する。 ・「みまきこ応援村」のハード整備を通じて地域の人々が集まる環境づくりを行う。 ・新市街地に「住街区促進ゾーン」及び「産業立地促進ゾーン」を設け、経済的発展、町外転出の抑制及び昼間人口の職住近接を図る。 ・国の「優良田園住宅の建設の促進に関する法律」の適用を受けたエリアを設定し、農村居住を志向する人の移住・定住を促進することで豊かな田園地帯の活性化を図る。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域主体で実施するイベント等取組に対する補助（補助金）5,520千円 ・住街区整備におけるエンジニア配置（委託料）41,536千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 みまきこまんなか応援村の新設整備 56,322千円							
主なKPI	①人口（+580人） ②全世代・全員活躍まちづくりセンター等のイベント参加者数（+3,000人） ③「くみやまっこ」交流拠点利用者数（+1,750人） ④新市街地の整備における新たな住居用地の面積（+3ha） ⑤新・農村人（アグリパーソン）累計移住者数（+14人） ⑥農商工連携累計事業数（+16件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.town.kumiyama.lg.jp/0000001780.html	

事業概要：大阪・関西万博を契機とした関係・交流人口創出・拡大事業

継続

申請者	京都府与謝野町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	249,618千円 (80,799千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	経済波及効果の大きい大阪・関西万博を契機に、与謝野町の認知拡大やシビックプライド醸成を図る取組を進めるとともに、観光コンテンツ・ツーリズム造成や魅力発信拠点の整備も行うことにより、観光消費額と観光入込客数の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大阪・関西万博を契機に、「地域資源を活かした着地型観光コンテンツの不足」「シビックプライドの醸成による観光まちづくりに寄与する人材不足」「脆弱な訴求力」という地域課題を解決するため、ファン創出・拡大事業、観光コンテンツ・ツーリズム造成事業、魅力発信拠点整備事業に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 【ソフト事業】 ・魅力発信・シビックプライド醸成に係る媒体・ノベルティを製作し広報するもの（需用費等）8,500千円 ・与謝野体感観光コンテンツ・ツーリズム造成事業（補助金等）25,800千円 【拠点整備事業】 ・与謝野駅舎実施設計費 4,886千円 ・与謝野駅前広場整備工事費 39,213千円					与謝野駅周辺整備イメージパース	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+209百万円） ②観光入込客数（+228千人） ③観光コンテンツ造成数（+17件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.yosano.lg.jp/administration/plan/regional-revitalization/koufukin/index.html